

父さんへ

ラジオネーム…たけ

父さん。こうして手紙を書くのは、いつ以来だろうか。

一人の生活はなかなか寂しいもので、父さんの存在と

いうのが、いかに大きかったかひしひしと感じているよ。

うちは母さん早くに亡くなっていて、男手一つで

私を育ててくれた父さん

毎日何も言わず、黙々とそれでいて優しく私を支えてくれた。

そんな父さんに、私は何もしてあげられなかった。

これからもっともって恩返ししたかったのに……

私が就職して初めて二人で行った海外旅行が、

最初で最後の親孝行になるなんて想像もしていなかった。

私も社会人としてやっと恩返しができるくらいの子孫が生まれるよう

になってきて、今までいろんなものもらってきたから沢山お返しよ

う。そう思っていた矢先だったのに、

父さんが病で倒れた時は本当に悔しかった。

入院中も毎日のように会いに行って、会うたびに元気がなくなっていく。父さんを見ていて、後悔が押し寄せてきた。

父さんがなくなって、気づいたら葬儀も終わっていて、

何もかもあっという間だった。

当時は友人達にすごく心配されていたけれど、

今は前をむいて何とか元気にやっているといるつもりです。

家事もコミ出しても、父さんが全部やってくれていたけれど、

自分でやってみるととても大変で、父さんには頭が上がらないよ。

最近、家のドアの建付けが悪くていざ直そうと思ったけれど、

いままでは父さんがなんでも直していたんだよね。

本当に器用でそれでいて厳格な大黒柱だったことを感じるよ。

まだもう少し先になるだろうけど、必ずもう一度会えるよね。

父さん、その時は今度こそ沢山親孝行させてね。

ちゃんと面と向かっていったことはなかったけれど、

本当に感謝しているよ。父さんありがとう

リクエスト曲

（ サボテンの花／チューリップ ）